

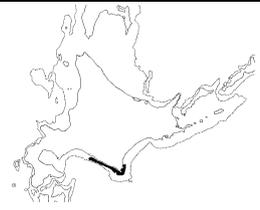
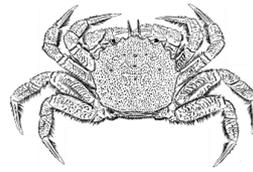
29.ケガニ

主な漁業と漁期

けがにかご

日高西部：1月中旬～翌3月下旬

日高東部：12月上旬～翌2月下旬



日高海域

生態

◆分布・回遊

雌雄ともに季節的な深淺移動を行い、1～5月は水深20～60m、9～10月は水深90～110mが主分布域となります。漁獲対象サイズ（甲長8cm以上）のオスは大きな水平移動をしません。

◆産卵期・産卵場

◎産卵期：7～8月と11～翌4月の2群があるとされています。幼生ふ化期は1年以上経過した3～4月です。

◎産卵場：不明です。

◎産卵生態：交尾・産卵はメスの脱皮に合わせて2～3年ごとに行われます。交尾から産卵までは半年以上を要し、メスは産卵後、受精卵を自分の腹肢に付着させ、幼生がふ化するまで保護します。

◆成長・成熟

	甲長(mm)		体重(g)	
	オス	メス	オス	メス
2歳	51	42	66	35
3歳	63		135	
4歳	76		247	
5歳	89		416	
6歳	89		416	
7歳	103		664	
8歳	103		664	

*) 2002～2012年の測定データ、三原ら(2016)、Abe(1992)より

*) 加齢の基準日：4月1日

◎成熟年齢・甲長

・オス：平均甲長51mm、2歳から成熟する個体が見られます。

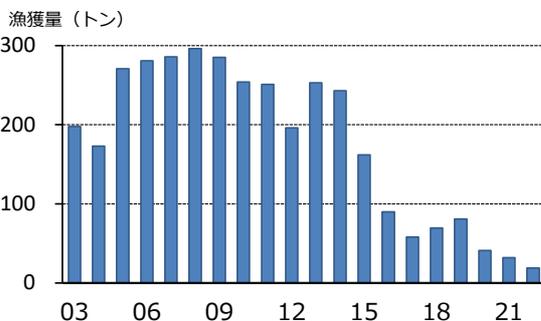
・メス：平均甲長42mm、2歳から成熟する個体が見られます。

資源評価

[評価年] 4月～翌3月

[資源水準の指標] 資源調査による資源量指数

2022年度の漁獲量は19トンと、前年に比べ減少しました。2022年度の資源水準は低水準で、翌年にかけての資源動向は、新規のまとまった加入が期待できないこと、漁獲対象となっている甲長80mm以上の資源量が今後減少すると考えられることから減少と判断されました。今後、資源管理目標にある中水準以上の維持を達成するためには、漁獲圧を下げて資源状況に見合った資源利用を図っていくことが重要です。



2022年度
の水準



低水準

2023年度
の動向



減少

資源の維持・増大のために！

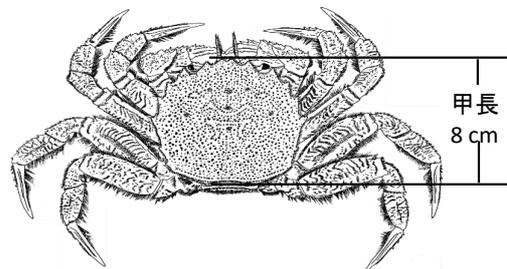
資源管理の現状(主なもの)

○北海道漁業調整規則

メスおよび甲長8cm未満のオスの採捕が禁止されています。

○許可の条件等

許可隻数、漁期、かご数・目合の制限をしています。また、毎年資源評価に基づき、許容漁獲量を定めています。



☆長年にわたり漁獲を続けていくためには、資源状況に見合った資源利用を図っていくことが非常に重要です。

問い合わせ先

北海道水産林務部水産局漁業管理課資源管理係
北海道立総合研究機構 栽培水産試験場調査研究部

電話 011-204-5477

電話 0143-22-2327